

栗山コレクションにみる北代遺跡

北代遺跡の発見と周知

北代遺跡は、明治 40（1907）年に北陸地方の遺跡遺物調査のために富山県を訪れた考古学者、吉田文俊氏によって発見されました。その際、部分的な発掘調査が行われ、縄文土器や石器、土偶などが出土したとの記事が『富山日報』に掲載されています。

その後、富山県の考古学界の草分けであった早川荘作氏の著書『越中石器時代民族遺跡遺物』〔大正 15（1926）年 11 月、中田書店〕、『越中史前文化』〔昭和 11（1936）年 3 月、中田書店〕、『富山県の石器と土器』〔昭和 37（1962）年 5 月、清明堂〕で、北代遺跡が紹介され、広く知られることとなりました。

栗山邦二氏と「栗山コレクション」

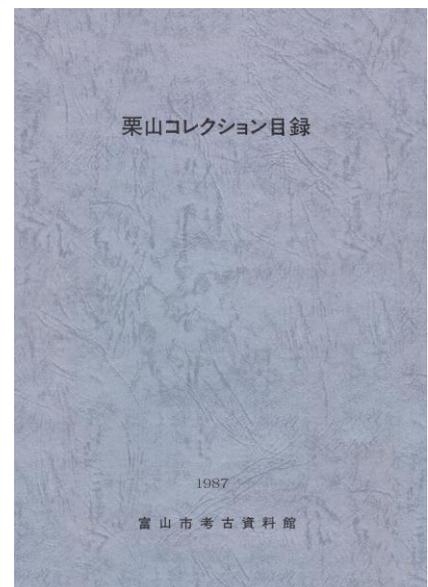
栗山邦二氏は明治 36（1903）年に富山市秋吉で生まれ、富山商業学校在学中に教師からの感化を受けて考古学を志されました。卒業後、銀行勤務を経て大久保郵便局長を務める傍ら、寸暇を惜しんで各地を歩き、地表にあらわれた考古遺物を研究のために蒐集（採集）して遺跡の存在を明らかにされました（富山市考古資料館 1987）。これは、考古学研究で最も基本となる分布調査で、現在も広く行われます。栗山氏による分布調査は、富山県内はもとより岐阜県や石川県などにもおよび、蒐集品は貴重で豊富な内容があります。

栗山氏は昭和 24 年の富山考古学会創立時からの会員でもあり、以来 35 年間にわたり、会の中核として行動され、会の推進力となって活躍されました（湊 1985）。考古学に関する新聞記事の切り抜きは大正 4 年（小学 5 年生頃）から行い、日曜日ごとに、退職後は毎日のように分布調査に出かけられました（栗山 1985）。

栗山氏は蒐集品を生前から一括して後世に伝えたいと希望され、昭和 58 年頃から富山市考古資料館に寄付を重ねられました。これらは「栗山コレクション」として考古資料館に収蔵保管され、主な資料は現在も常設展示されています。目録（富山市考古資料館 1987）も刊行されています。栗山コレクションには北代遺跡での蒐集品が 68 点あります。本展では、そのうちのすべての縄文時代遺物を一堂に会してご紹介します。

「栗山コレクション」にみる北代遺跡

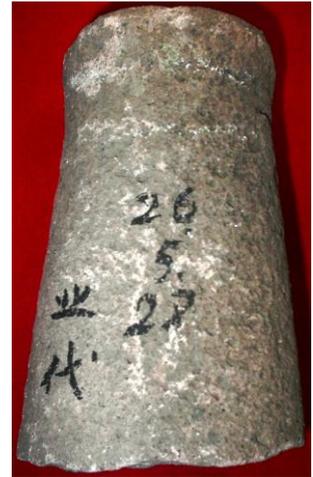
遺物には「北代」や「大畑」と出土地が墨などで記載されています。大畑は北代の字名であり、この記載によ



って史跡^{しせき}北代遺跡からの蒐集品と特定できます。蒐集年月日が記載された遺物もあります。最も古いもので大正 15 年 5 月、他に昭和 3・5～7 年があり、20 代前半～末の青年期に収集されたものを特定できます。

栗山氏と北代遺跡とのかかわりは大正 11 年に始まりました。同年 1 月 6 日の『北陸タイムス』記事「県下石器時代遺跡地」に掲載された 25 ヶ所からの蒐集品に興味を抱いた 19 歳の栗山氏は、まず北代遺跡を訪ねました。同記事が 19 歳年上の早川荘作氏との出会い、北代遺跡の訪問が分布調査の道に入るきっかけとなり、数年後には早川氏を訪ねて遺物を見せてもらったり、遺跡の状況を聞いたりしました（栗山 1981）。以後も親交を重ね、早川氏を幾度も訪ねて考古談義を楽しまれました（早川・市島編 1995）。

栗山氏が蒐集した北代遺跡の縄文時代遺物には土器のほか、多様な石器・石製品^{せきせいひん}、土偶などの土製品^{どせいひん}があります。石鏃^{せきぞく}が多いという特徴は、縄文時代中期の拠点となる集落で、狩猟の拠点でもあった北代遺跡の性格を如実に示します。完成品^{まるだま}（丸玉）だけでなく、未成品^{みせいひん}（製作途中品）や素材があることから、遺跡内で各種の玉^{たま}を作っていたこともわかります。



大正 15 年蒐集の
大型石棒

栗山氏らによる分布調査の意義と今日にいたる経過

明治末期から昭和初期にかけて、栗山氏や早川氏をはじめとする多くの方の分布調査によって、県内の遺跡の内容が次第に明らかになりました。このようななか、北代遺跡は昭和 46 年に住宅団地の建設計画で破壊の危機に直面しましたが、栗山氏ら多くの方による分布調査の成果が富山県教育委員会による試掘調査の実施、さらには計画撤回につながる布石となり、遺跡の保存につながりました。栗山氏らによる分布調査の意義の一つはここにあります。

その後、市民の理解と協力の下、北代遺跡は昭和 59 年に国史跡となりました。平成 11 年 4 月に富山市北代縄文広場がオープンし、歴史学習の場としてだけでなく、朝夕の散歩や野鳥観察、写真撮影、写生、立山遠望など、来場者思い思いの憩いの場として広く活用されています。

謝辞

本展の開催にあたり、富山市考古資料館の協力を得ました。

参考文献

- 栗山邦二 1981 「早川先生の思い出」『大境』第 7 号 富山考古学会
- 栗山喜美 1985 「主人の思い出」『大境』第 9 号 富山考古学会
- 富山市考古資料館 1987 『栗山コレクション目録』
- 早川 清・市島 昇編 1995 『父 早川荘作の伝記 越中考古行脚』 越中石器の会
- 藤田富士夫 1985 「悼む栗山邦二先生」『大境』第 9 号 富山考古学会
- 湊 農 1985 「栗山邦二名誉会員のご逝去をいたむ」『大境』第 9 号 富山考古学会
- 山内賢一・亀田正夫・西井龍儀・藤田富士夫 1985 「栗山先生を語る」『大境』第 9 号 富山考古学会